

(PC)教卓 PC 利用状況

1. 概要

教卓 PC とは、各教室の教卓に常設された PC を指し、シンクライアントの技術を用い、アプリケーション、セキュリティのメンテナンス性、常時稼働を考慮したシステム設計を行っている。

各キャンパスの教室に配備されている教卓 PC の利用状況については以下のとおりである。

2. 利用状況

(1). OS 別起動回数年間推移

① 池袋キャンパス

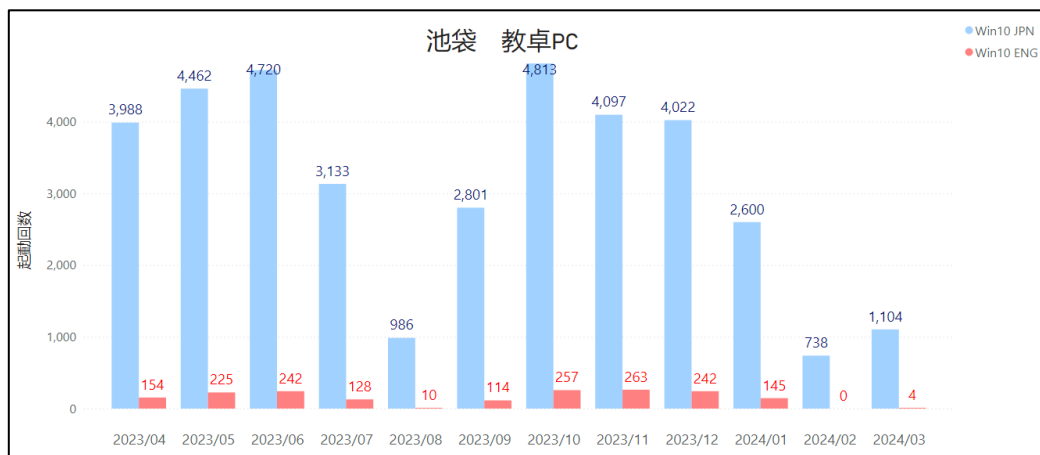


図 1 : OS 別起動回数年間推移 教卓 PC (池袋)

② 新座キャンパス

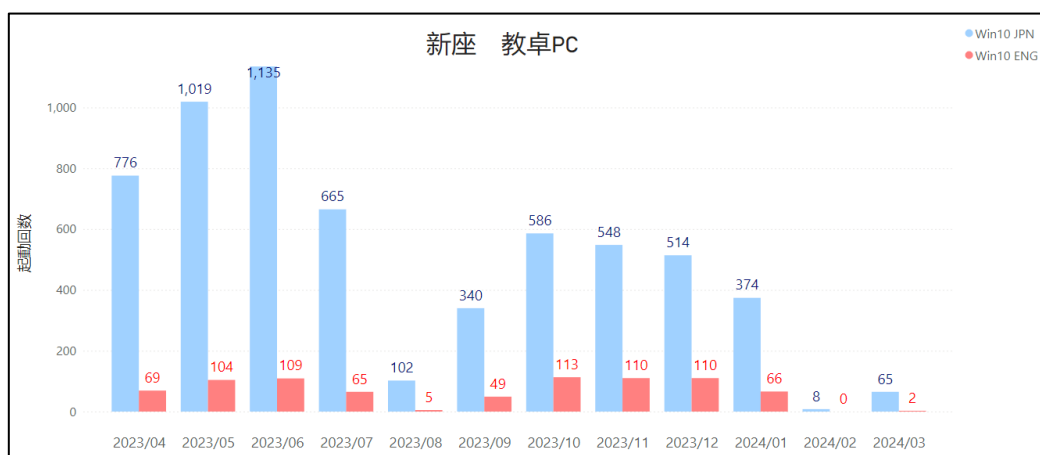


図 2 : OS 別起動回数年間推移 教卓 PC (新座)

(2). 平均起動時間年間推移

① 池袋キャンパス

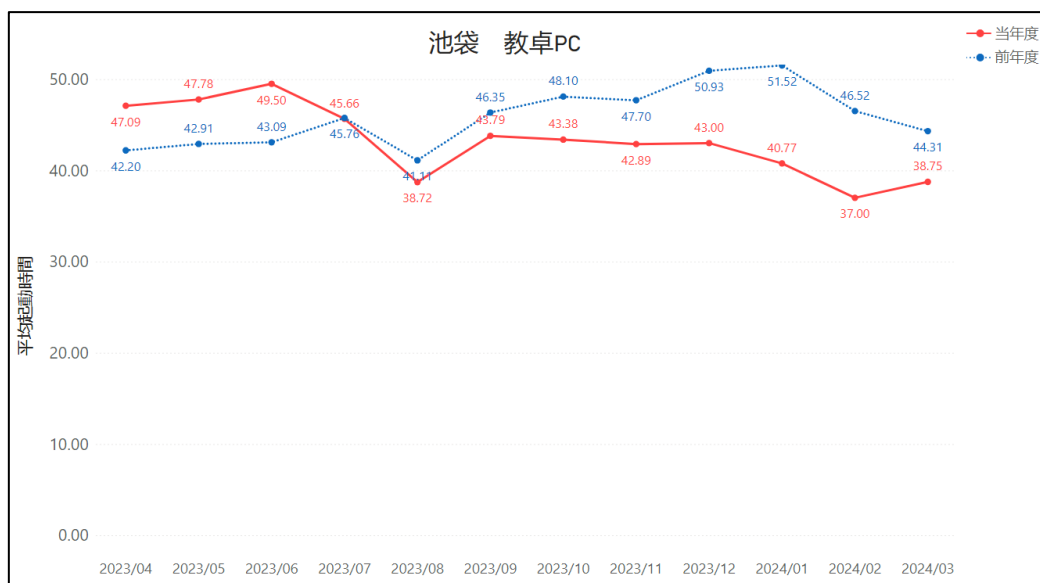


図 3：平均起動時間年間推移 教卓 PC (池袋)

② 新座キャンパス

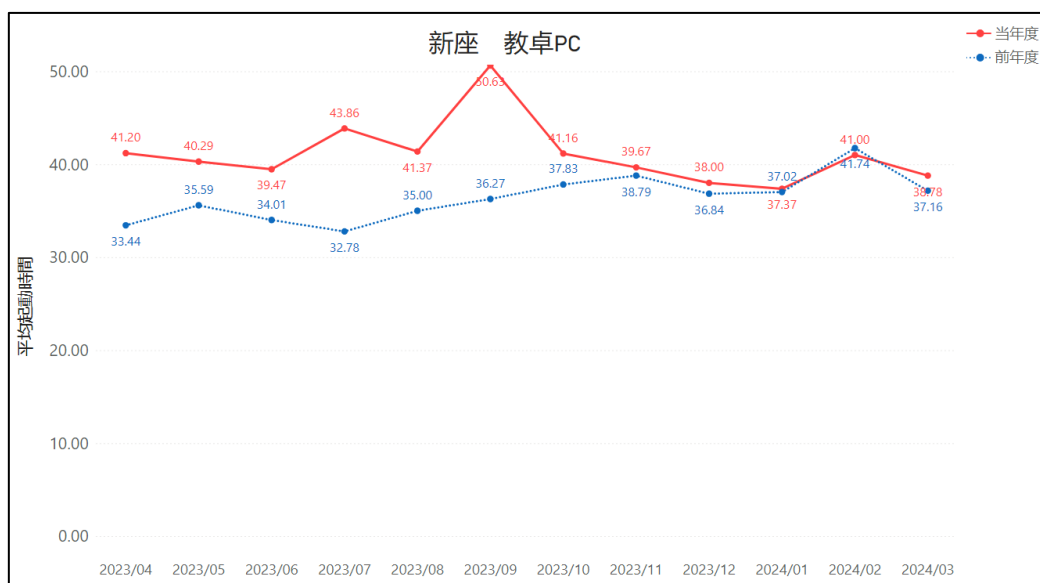


図 4：平均起動時間年間推移 教卓 PC (新座)

3. 2023年度のまとめ

年間の起動回数の合計は池袋が 39,248 回、新座が 6,934 回、合計 46,182 回となっている。前年度の合計値、約 49,500 回よりも 7%減っているが、依然として利用率は高い状態である。

次年度の PC 更改にてハードウェア性能が格段に上がることから、起動時間や操作レスポンスの改善が見込まれている。

学内 PC 教室で先行して導入された Windows11 の運用経験をもとに、教室教卓用の PC として安定して高いパフォーマンスが出せるようにしていきたい。